

資料 2

科学技術・学術審議会 人材委員会
次世代人材育成WG（第2回）
令和7年5月15日

博士後期課程学生の活躍に向けた支援について

尾上孝雄

(大阪大学 理事・副学長)



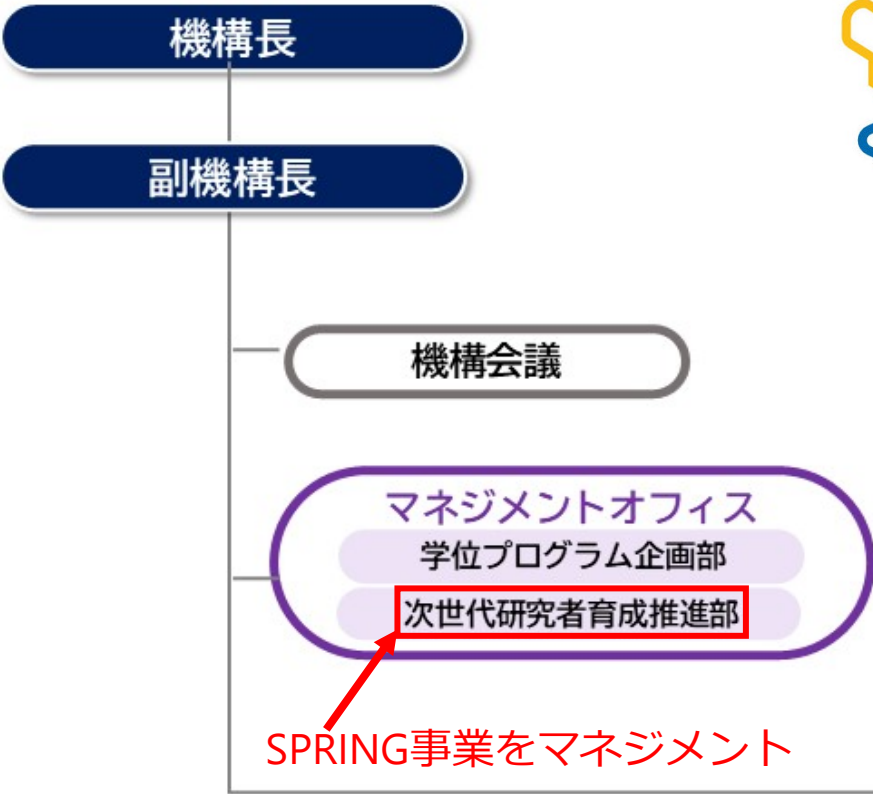
大阪大学における博士課程学生支援状況

SPRING事業

- 研究奨励費216万円+研究費48万円(増額あり)
- 後期課程学生の約23%を支援(社会人を除くと約32%)
- うち留学生は23%程度

その他

- BOOST事業(R7: 31名)
- 学振特別研究員 (R6: 223名)
- 国費外国人留学生 (R6: 243名)
- 全学給付型奨学金 (M, D: 120名、総額0.47億円)
- 全学授業料免除 (216名、総額1.15億円)
- 他は研究科、研究プロジェクト等から支援



大阪大学学際大学院機構
Institute for Transdisciplinary Graduate Degree Programs



大阪大学
学際融合を推進し社会実装を担う
次世代挑戦的研究者育成プロジェクト
Next Generation Researcher Development Project

	博士(後期)課程学生数		留学生数		社会人学生数	
	全学(*)	SPRING	全学(*)	SPRING	全学(*)	SPRING
2022年度	3,225	420	821	120	1,028	8
2023年度	3,183	420	856	92	1,025	12
2024年度	3,235	606	895	157	1,008	19
2025年度		728		165		22

(*)学校基本調査(各年度5/1付)より

SPRING博士課程学生の支援プログラム

授業科目としてのキャリア開発・育成コンテンツ

授業科目以外のキャリア開発・育成コンテンツ

学際融合育成領域

アカデミアの多様な分野を融合するマインドを育成する



トランスファラブルスキル育成領域

将来どの分野に進んでも必要とされるスキルを育成する



産学共創・社会学共創育成領域

産業界とアカデミアの共創、社会とアカデミアの共創を目指すマインドを育成する



国際性涵養領域

将来国際的に活躍するために必要なスキルを育成する



ミキシングプレゼンテーション (必須科目)

異分野融合の場で、プロジェクト生同士が研究内容を発表し合い、議論を交わしながら研究者としての技量を養う次世代プロジェクト独自の科目

次世代Career Café



アカデミック英会話



メンターオンデマンド



次世代プロジェクト履修生ポータル



キャリアパス開発に関する企画には、非履修生も参加 次世代キャリアデザイン論 (参加387名、うちSPRING152名)
次世代Career Café (参加240名、うちSPRING60名)



SPRING履修生とSAKIGAKEクラブメンバーとの交流会



SAKIGAKEクラブ

- 「若い力で未来創生」をコンセプトに、本学の卓越した概ね45歳以下の若手研究者から構成されるクラブ。約170名が在籍。
- 異分野交流による研究の活性化・新たな研究領域の創設を目指し、研究交流会や融合研究（OUエコPG）を実施。融合研究から新たな資金獲得にも繋がっている。
- SAKIGAKEクラブの「若い力」は、メンバー間の連携にととまらず、大学経営の改革、次世代研究者の育成、地域社会との連携へと発展。



“躍動する”博士人材の増加に向けて～2040博士人材3倍をどう成し得るか？

阪大での現状と課題

- BOOST履修生が学振特別研究員DCに採用されるとBOOSTを辞退する。
→DCの権威・名誉は良いことだが学生は本当にハッピーなのか？
- 研究室から履修生への追加支援は可能だが、実際にはそれほど多くない。
→まずは広く博士学生を支援することが主眼におかれている。支援の「メリハリ」は？
- 日本での就職を選択肢に入れる留学生は一定数いるが、帰国者(あるいは他国で就職する者)が多い。
→国費が就学時の支援のみに使われるのは非効率。日本への定着支援や産業界での受入れ体制の整備は？
- 社会人学生は「生活」には困っていないが、就学時のさまざまな課題に苦心している。(有給休暇、履修自由度、授業料、通学費、職場理解)
→社会人就学の障壁をどう取り除くか？

“躍動する”博士人材の増加に向けて～2040博士人材3倍をどう成し得るか？

望ましい博士人材輩出支援に関する私見

- 学振特別研究員支援を**世界基準レベル**に引き上げる
- 対象カテゴリ (日本人、留学生、社会人) 毎の**戦略的な支援**を行う
 - 留学生や社会人も主体的な**研究実施経費の支援**は有効
 - 留学生の「**定着**」を主眼に置いた施策を支援
 - 社会人の入学を増やすための施策を支援
- [SPRING事業]支援対象大学間での(地域)クラスタ化による**コンテンツ相互利用**を促進し有益な「課程」にする
- **大学間連携による博士人材育成**を促進させ、国内全大学の力を併せて博士学生の増加をめざす
- 産業界と学術研究機関の**博士人材流動性**を高め、国内各所で博士人材が組織をリードする状況を創り出す

